

## 個別注記表

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しております。

### II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

###### ① 通常の販売目的で保有する棚卸資産

総平均法による原価法で評価しております。（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法より算定しています。）

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。  
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法によっております。  
主な耐用年数は次のとおりです。  
建物及び構築物 … ●年～●年  
機械装置及び運搬具 … ●年～●年

##### (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を回収不能見込額として計上しております。

##### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による期末自己都合要支給額）に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

##### (1) 長期請負工事に係る収益の計上基準

収益の計上については工事進行基準を適用しております。

#### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

### III. 会計方針の変更に関する注記

#### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法の変更

《変更の理由》により有価証券の評価方法を▲▲▲法による●●●法から▽▽▽法による■ ■ ■法に変更しております。これにより損益への影響は軽微であります。

#### 2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

《変更の理由》により棚卸資産の評価方法を▲▲▲法による●●●法から▽▽▽法による■ ■ ■法に変更しております。これにより損益への影響は軽微であります。

#### 3. 消費税等の会計処理方法の変更

従来、消費税の会計処理は●●方式を採用していましたが、《理由》により▼▼方式に変更しております。  
これにより営業利益／経常利益／税引前当期純利益にXXX千円減少（増加）しております。

#### IV. 表示方法の変更に関する注記

##### 1. 表示区分の変更

従来、《具体名》は●●●の「■■■」に計上しておりましたが、《変更の理由》のため、当事業年度より□□□の「○○○」に計上する方法に変更しております。  
この変更により、従来と同一の方法によった場合と比べ、□□□はXXX千円増加し、●●●は同額減少しております。

##### 2. 表示方法の変更

従来、区分掲記しておりました「●●●（当事業年度XX千円）」は、▲▲▲の総額の100分のXX以下となったため、■■■の「その他」に含めて表示しております。

#### V. 誤謬の訂正に関する注記

##### 1. 誤謬の訂正内容及び理由

従来、《具体名》は《以前の内容》によっていたが、《理由》のため、当事業年度より《新しい内容》に変更しております。  
これにより、《具体名》はXX千円減少(増加)しております。

#### VI. 株主資本等変動計算書に関する注記

##### 1. 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類：●●株式  
前事業年度末の株式数 … XX千株  
当事業年度増加株式数 … XX千株  
当事業年度減少株式数 … XX千株  
当事業年度末の株式数 … XX千株

#### VII. 一株当たり情報に関する注記

##### 1. 一株当たり情報に関する注記

一株当たりの純資産額 … XX, XXX円XX銭  
一株当たりの当期純利益 … XX, XXX円XX銭

#### VIII. その他の注記

##### 1. 期末日満期手形に関する注記

期末日満期手形の会計処理は、手形の満期日をもって決済処理しております。